

ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報

組織名・所属	NPO法人 共存の森ネットワーク				
役職	理事長				
氏名	澁澤 寿一	ふりがな	しぶさわ じゅいち	生年	1952年
連絡先住所	〒156-0043	東京都世田谷区松原1-11-26 コスモリヴェール松原301号室			
電話番号	03-6432-6580	メールアドレス	juichi_shibusawa@kyouzon.org (■を@に変えて下さい)		

2. 経歴・取組内容、取組分野等

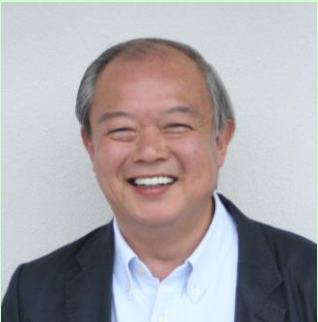
主な経歴・受賞歴	<経歴> ◆1980年、東京農業大学大学院博士課程修了 ◆1998年、NPO法人 樹木・環境ネットワーク協会理事長 ◆2007年、NPO法人 共存の森ネットワーク理事長 ◆2010年 東京農大「農山村支援センター」副代表 農学博士、國學院大學講師 ◆総務省 地域力創造アドバイザー（地域人材ネット登録）					
	主な取組内容、実績等	◆岡山県真庭市での木質バイオマスの利用推進と地域づくり(1998～) ◆バイオマスツアー真庭の立ち上げ・半島地域の活性化(国交省事業) ◆豊田市定住促進事業「豊森なりわい塾」(トヨタ自動車、豊田市、NPO) など				
取組分野		<input type="radio"/>	1	観光振興		7
	<input type="radio"/>	2	産業振興		8	イベント交流
	<input type="radio"/>	3	過疎地域・限界集落の振興		9	食品流通
		4	中心市街地活性化		10	環境
		5	まちづくり景観		11	NPO・ボランティア
		6	農林水産品の開発・ブランド化		12	その他()

3. 関連ホームページ

名称	アドレス
農山村支援センター	http://nousanson.jp/
共存の森ネットワーク	http://www.kyouzon.org
樹木・環境ネットワーク協会	http://www.shu.or.jp/

4. ふるさと財団での実績	
地域再生マネージャー	<ul style="list-style-type: none"> ◆2006年度～08年度 岡山県真庭市 「バイオマス等他産業との連携による産業観光創出事業」 ◆2014年度 岡山県真庭市 「里山資本主義にもとづく中和地区振興事業」 ◆2015年度 岡山県真庭市 「里山資本主義にもとづく地域振興組織設立支援事業」
地域再生セミナー講師	<ul style="list-style-type: none"> ◆2009年度 鳥取県 セミナーテーマ:「多層的連携による地域再生」 ◆2010年度 岐阜県 セミナーテーマ:「循環型地域社会における地域づくり」 ◆2011年度 山口県 セミナーテーマ:「地域資源を活かしたまちづくり」 ◆2014年度 島根県 セミナーテーマ:「人口減少社会における地域づくり ～ 行政の役割、地域政策の在り方とは、地域とのかかわり方 ～」
環境整備型マネージャー	
短期診断マネージャー	<ul style="list-style-type: none"> ◆2016年度 山形県飯豊町 ◆2018年度 福島県鮫川村

5. 財団報告書	
名称	アドレス
平成18年度 地域再生マネージャー事業	http://www.furusato-zaidan.or.jp/chiiki/pdf5/1239174062659.pdf
平成26年度 新・地域再生マネージャー事業	http://www.furusato-zaidan.or.jp/H26jigyouhoukokusyo.pdf
平成27年度 新・地域再生マネージャー事業	http://www.furusato-zaidan.or.jp/H27jigyouhoukokusyo.pdf
平成28年度 新・地域再生マネージャー事業	https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2017/06/H28_chiikisais

6. 写真・ひとことPR	
	<p><ひとことPR></p> <p>全国の中山間地、過疎地といわれる地域では、一次資源は豊かであるにもかかわらず、グローバル経済の中では自立が困難となっている。そこに外部の人材や適切な情報をつなぐことにより地域内の循環システムを構築し、新たな事業を立ち上げ、雇用を生み、地域自立への道筋をつける。しかし、そこまでは地域活性化にはならず、そのための地域内の合意形成、次世代への環境教育、外部者(よそ者)との「寄り合い」、などをとおして地域全体が一つの目標に向かってすすめるようコーディネートする。また、「よそ者」として、地域内の様々なファクターの合意形成を作るにあたっての、種々の利害関係の「安全弁」となる。</p>